

## 第65回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：平成30年7月17日（火）午後7時00分～8時40分
- ・場 所：津久井総合事務所3階第1・2会議室
- ・出席者：委員20名出席（4名欠席）
- ・傍聴者： 0名

1 開 会 高井副代表

2 あいさつ 落合代表

3 報告事項

（1）部会報告

・つくい元気部会報告

懇談会のテーマは、昨年度実施した買い物支援と移動支援に関するアンケート結果を基に、今年度も引き続き「買い物支援」と「移動支援」をテーマとすることで決定しました。

今後の作業は、交通不便地域や買い物不便地域の把握を実施するため、白地図に店舗の位置やバス停（神奈中・乗合タクシー）の位置をマークし、こういった場所から500m以上離れた場所を不便地域と仮定して支援を必要とする地域を把握していく予定です。

・地域活性化部会報告

7月2日（月）に第3回目の部会を開催し、前回の会議結果をもとに、地区まちづくり懇談会のテーマと、課題の絞り込みを行いました。テーマにつきましては、前回の全体会で「地域の魅力づくり」と報告しましたが、その後もその方向性は変わらず、テーマに描く全体像のご意見を皆様からいただきましたので、次回8月の全体会ではお示ししたいと考えています。

課題としては、「津久井広域道路」「中野山を活用した里山構想」「商店街の活性化」「公共交通」「若者・雇用」「空き家」などが挙がっており、津久井に人を呼び込むための方策や、生活に係る身近な課題、道路などの安全対策などに関心が高かったことから、「空き家の有効活用」「中野山を活用した観光振興」「津久井広域道路開通に伴う通学路などの安全対策」を取り上げることとなりました。

4 協議事項

（1）次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について（第3回目）【事務局：企画政策課、都市計画課、緑区役所区政策課】

企画政策課の担当者から「津久井地区まちづくり提言書」と「地域づくりの基本方針」の主なソフト分野の進捗状況について説明があり、津久井地区での課題と改善策について意見交換が行われ、それぞれの班から、結果発表を行った。

< 委員からの質疑 > ( : 委員発言 : 事務局及び各担当者 )

有害鳥獣被害対策で、名手地区においてはサルの被害が深刻です。この地区に出没する「K2群」と言われる群れについては、今のところ「追い払い」で対応している。

現状の「追い払い」では、一時的に他地区へ移動するものの、移動先でも「追い払い」をするので、また戻ってきてしまう。

今後の対策として、駆除をする方向性が出ていると認識しているが、捕獲する檻が設置されているにも関わらず、捕獲は実施されていない。

捕獲については7月25日から9月25日までの間に実施許可が出ると聞いたが、その時期では遅い。

農作物の被害は、5月頃から始まっているので、早い時期に実施しなければ効果が無いと考える。

この件については、所管課の津久井地域経済課に伝えます。

< 各班の主な発表内容 >

#### 1 班

防災対策を充実させたい。津久井地区にはヘリポートが4箇所しかない。

津久井中央地区の市営住宅跡地に、大型ヘリコプターも発着できるなどの防災拠点施設を設置して欲しい。

防災の観点からも、広域道路周辺の支線道路を拡幅するなどの対策が求められる。

#### 2 班

津久井湖の水質が以前よりは良くなっていると言うが、改善がされているとは言い難い状況。引き続きの対策が必要ではないか。

鳥獣被害も減っているとは言えない、さらなる対策強化が求められる。

テレビ撮影で使われている施設や、青根の天体望遠鏡など、もっと相模原市の魅力発信をするべきである。

まちづくり会議を含めた地域の会議体にも若者の取込が必要である。

子育て世代への支援を行い、若年層の移住や定住などの方策が必要である。

市の教育レベルの更なる向上が求められているのではないか。

就農希望者への空き家や、農業技術の提供を図るべきではないか。

### 3 班

ひばり放送が男性の声では聞き取りづらいので、女性の声のほうが良いのではないか。

西日本豪雨災害で、ハザードマップと災害現状が概ね一致していた。このことからハザードマップの重要性が再認識された。市でも再度市民へ周知徹底を図ってほしい。

近所のコミュニケーション強化が求められている。

防災訓練を9月1日だけではなく、時期を見直すことも必要ではないか。

避難場所の備蓄品等の管理が求められている。

老人福祉センターの利用形態の見直しにより、使用がしづらくなった。

津久井地区のイベント・行事を統合するなどの見直しが必要ではないか。

免許返納者への支援のため、交通支援や公共交通の維持強化が必要である。

高齢者への買い物支援や、個人経営の商店活性化も必要ではないか。

### 4 班

間伐等の森林の整備・管理が必要である。

鳥獣対策の見直しが必要である。

ヤマビル対策のさらなる強化が必要である。

高尾山からの観光客の導引を目指した観光対策が求められている。

シャッター商店街を活気づけることが必要ではないか。

民泊を取り入れた地域活性化が必要ではないか。

農業後継者不足を解消させる取組みが必要ではないか。

「避難所」と「避難場所」の違いを市民は理解できていないので、周知することが必要ではないか。

自治会や消防団等と連携した防災活動が必要である。

環境保全の観点からも下水道の早期整備が求められる。

次回会議は、今までの意見交換の結果報告（案）を基に意見に漏れが無いかの確認作業や、新たな意見等をグループ討議していただきたい。

## 5 その他

### 情報提供

- ・平成31年度からの市内小中学校の夏季休業の短縮について、情報提供を行った。

- ・相模原市地域活性化事業交付金を活用している、「土沢森あそびの会：里山を活かしこどもの遊び場と大人のコミュニティスペース事業」と、「相模原食生活改善推進団体 わかな会津久井地区：津久井こども食堂事業」について、活動状況の情報提供を行った。

#### 連絡事項

- ・次回の全体会日程 日時：平成30年8月21日（火）午後7時～  
場所：津久井総合事務所3階 第1・2会議室

7 閉 会 森田幹事（地域活性化部会長）